



## 5 . 下流基準地点での効果推定値

ダムが貯水容量内に洪水を貯留することによって、東沓部地点での実績最高水位は、3.66mでした。

ダムが貯留を行わなかった場合の東沓部地点での河川水位は約5.40mと推定されます。(この値は、東沓部地点の実績流量に、岩屋ダム地点の洪水調節量を加算して、算定した河川水位の推定値です。)

その結果、東沓部地点で約1.74mの水位低減効果があったものと推定されました。

東沓部地点 岩屋ダム下流約9.3km、飛騨川本川合流前約7.5kmの地点  
住所：岐阜県下呂市金山町東沓部字前田会津1458

## 6 . 配布先

岐阜県政記者クラブ

## 7 . 問い合わせ先

独立行政法人 水資源機構 岩屋ダム管理所 所長代理(技) 田原 秀光  
電話 0576 - 35 - 2339

国土交通省 中部地方整備局 木曾川上流河川事務所  
流水調整課長 大塚 康司  
電話 058 - 251 - 3234

# 岩屋ダムの洪水調節効果(東沓部地点)

左岸

右岸

岩屋ダムが貯留を行わなかった  
場合の想定水位 約5.40m

ダムによる水位低減効果  
約1.74m

実績最高水位 約3.66m

東沓部地点: 岩屋ダム下流約9.3km、飛騨川本川合流前約7.5kmの地点  
(住所: 岐阜県下呂市金山町東沓部字前田会津1458)



